

市民の思いを計画に

モエレ沼公園の活用を考える会

市長に要望

「モエレ沼公園の活用を
考える会（モエレ・ファン
・クラブ）」（会長・小林
英嗣北大院教授）は5日、
市役所を訪れ、上田文雄市
長へ、4月に行ったシンポ
ジウム「モエレ沼公園の未
来図」の報告書を手渡すと
ともに、第2次新まちづく
り計画（2007～10年度）
にシンポジウムで示された
市民の思いを何らかの形で
反映するよう要望した。

これに対し上田市長は
「新まちづくり計画にどの
ような形で生かせるのか極
論中だが、市民の皆さんの



同会はイサム・ノグチが
残したモエレ沼公園の美し
い空間を未来に渡すことも
に、市民と行政協働による
公園文化をほぐくむことな
どを目的に2003年5月
に発足。現在の会員数は法

人、個人合わせて約100
人となっている。

4月のシンポジウムでは
「市民と行政協働による迎
営システムであらゆる人々
が心から楽しめる園の高い
公園とする未来図を描きつ
つ活動を続けること」や「市
はモエレ沼公園が世界を代
表する特別な公園であるこ
とを強く意識し、従来の公
園維持管理業務にとまら
ず、独自の管理・運営の目
標と実現化への体制を早急
に構築すること」を採択し
ている。

同会では上田市長に採択
内容を説明するとともに、
市民の思いを第2次新まち
づくり計画に盛り込むこと
を要望した。

これからも市民に愛され、
世界に誇れるモエレ沼公園
であり続けることなどを上
田市長に要望した